

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区西港町3-4

団体名 ダイキンHVACソリューション九州(株)北九州支店

代表者 中村 吉秀

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	だいきんひーぱくそりゆーしょんきゅうしゅうかぶしきかいしゃ きたきゅうしゅうしてん	
団体名	ダイキンHVACソリューション九州株式会社 北九州支店	
(ふりがな)	なかむら よしひで	
代表者氏名	中村 吉秀	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 西港町3-4
	主たる事業所	福岡市博多区榎田1-10-21
事業概要	空調冷凍機器・装置の販売及び設計・施工	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種(企業のみ)	卸売業、小売業	
従業員数(企業のみ)	101~300人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.daikinaircon.com/group/dkhvac-kyushu/	



















連絡先

担当部署	北九州支店
担当者	中村 吉秀
電話番号	093-581-1912
メールアドレス	yoshihide.nakamura@grp.daikin.co.jp

提出書類

- ・様式1: SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)
- ・様式2: SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3: 地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット	具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組		
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> 次世代テレマティクスサービス「SMA-S+I7:146mart Connect」を導入し、ドライブレコーダーと運転管理ソフトを利用した上でガソリン削減を取組んでいる。 毎月の電気使用量・ガソリン使用量を算出し、EMP(環境取組)の監視目標として削減に取り組んでいる。 	ゴール	
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	経済(2)④
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> 自社の工事で発生するフロンガスの回収・管理の徹底、また、フロン全般再生への取り組みを実施している。 家電4品目については家電リサイクル法を順守した取り組みを徹底している。 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					<ul style="list-style-type: none"> 全社員にモバイルパソコン・携帯電話を支給し、様々な勤務体系に対応出来る資質を提供している。 全社有車をエコカーへ転換し、照明器具を全てLEDにしている。 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	環境(1)②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> IoT(アシスネット、ネットZEAS)を活用したサービスを提供し、長寿命化を勧める。製品の使用安全確保を踏まえた取扱説明書を作成している。また、製品設置工事完了後、お客様へ取扱説明を行っている。 提供する製品の質を担保する為、お客様コンタクトセンターを設置し24時間体制で対応している。 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール12	環境(2)ウ
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 省エネ空調機やヒートポンプ式暖房・給湯器、低温暖化冷媒など環境配慮型機器(グリーン購入法関連基準適合商品)の拡販に努めている。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	経済(2)④
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					<ul style="list-style-type: none"> 全社員にモバイルパソコン・携帯電話を支給し、在宅勤務、直行直帰、時差出勤を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 Web会議、会議室の意図付け換気、空気清浄機、全熱交換器等の設置をしている。 勤務管理(労77)を導入しパソコンのログにて日々の労働時間管理を徹底している。 労働組合で年間有給休暇日数を定め定期的な面談を実施し業務の効率化を図っている 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(1)イ
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					<ul style="list-style-type: none"> 社員17名中、女性4名、再雇用社員3名が十分に活躍できる環境が整っている。差別的特遇は無い。 『企業倫理・リスクマネジメント委員会』を設置し、人権・ハラスメントなど含む全般に関する相談や意見を従業員から受け付けている。 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会(1)イ
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					<ul style="list-style-type: none"> 社内ハラスメント防止のポスターを掲示している。 毎年、行動指針遵守状況の確認のために「自己点検」を実施し、問題が無いか確認し、必要な対策を講じている。 『企業倫理・リスクマネジメント委員会』を設置し、人権・ハラスメントなど含む全般に関する相談や意見を従業員から受け付けている。 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	社会(1)イ
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> 年に2回の健康診断、及び、インフルエンザ予防接種の経費は会社が全額負担している。 毎朝、出勤時の体温測定を実施、朝礼時にラジオ体操を実施している。 コロナ禍で出勤検温に対し、休日の取得が出来る様な体制を取っている。 メンタルヘルステック(年4回)を実施している。 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール8	社会(1)イ
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外雇への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> グループ内に研修所があり社内外の方が必要な資格を取得することが出来る。 必須資格取得については入社年より段階的な計画表が作成されており、従業員への啓蒙を行っている。また、必要経費の全額支給や、高い能力の資格については報奨金制度も取っている。 全社員の000検定取得を環境目標(EMP)に挙げ、取得推進に取り組んでいる。また、全社環境教育・環境eラーニングを年1回実施している。 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	社会(1)イ
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> 全従業員に対して、企業倫理ハンドブックを基に年1回自己点検(eラーニング)を実施し、取引先を含め社内・社外に対しての不正禁止事項の研修及び周知徹底を図っている。 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)ウ
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> 社内に環境グループ(部署)を設置し、環境ISOのマネジメントをしている。 またSDGの取組みを推進し、社会の様々な活動に積極的に参加し協賛していく事を目標としている。 グループ内部署(SR・地球環境センター)にて、サステナビリティレポートを毎年発行し、ステークホルダーへ発信している。 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	経済(4)①

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

(様式2)

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年 12 月 9日

団体名 ダイキンHVACソリューション九州(株) 北九州支店

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

私たちは空調業界のリーディングカンパニーとして「環境価値」を創出し、持続可能な社会に貢献します。事業拡大と環境負荷低減の両立を目指しながら、お客様に健康で快適な空気・空間を提供します。具体的には、地域清掃活動や全社員eco検定取得推進といった、社員の環境意識向上の機会創出はもちろん、弊社製品を販売頂く販売様には、環境負荷のより小さい製品を拡販頂くための製品勉強会を、弊社製品を設置施工頂く工事協力店には、環境三法（廃掃法、フロン排出抑制法、家電リサイクル法）と省施工材の勉強会を開催しています。社員のみではなく、お取引先様の「環境意識向上」を実現することで、サステイナブル社会に貢献して参ります。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標（KPI） ・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	高効率エアコンによるサブスク型のモデル事業の推進	指標 (KPI)	モデル事業への参画	指標
社会			目標値		具体的な取組
環境			2023年 (その他の場合) ()年	2021年 参画 1件 ↓ 2023年 参画 5件	
経済		ステークスホルダーへの環境意識向上の機会	指標 (KPI)	展示会自訴求活動・勉強会の実施	指標
社会	○		目標値		社会(4)③
環境			2023年 (その他の場合) ()年	2021年 2回 ↓ 2023年 6回	具体的な取組
経済		フロンガスの確実な回収と再生をはじめ、資源の有効利用を推進	指標 (KPI)	フロンガスの再生	指標
社会			目標値		具体的な取組
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	2021年 0% ↓ 2023年 100%	

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 ダイキンHVACソリューション九州(株)

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています(今後、参加します)。

取組名	具体的な取組内容
99 その他(市と連携した取組み)	『再エネ100%北九州モデル』への参画を通じ、第三者所有方式によるエアコン導入をサポート。気候変動問題への対応取組も共有、加速させていきます。
19 道路サポーター制度	会社周辺の歩道の定期除草、清掃活動。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの(今後取り組むもの)を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。